

安保・戦争国会粉碎へ！

全学連（斎藤郁真委員長）書記局通信

2015年5月26日
No.296

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全国学生の沖縄闘争感想

○東北大1年

国際通りデモは、祭りのような賑わいを見せ、周辺住民に対して大きなアピールにつながったと思う。事実、デモ行進の最中に沿道や車、自宅などから手を振って応援してくれる方々もいた。車両デモによる右翼の主張は、「沖縄県の問題は沖縄県で解決する」「お前らは中国人か」などという内容だった。「沖縄県民に迷惑をかけるな」という声もあったが、本当に沖縄県民に迷惑をかけているのは米軍基地ではないか。騒音やオスプレイの事故など、基地周辺の住民はどれだけ怒り、恐怖に怯えていることであろうか。

県民大会も大成功であった。3万5000人ものが集まり、セルラースタジアムから人が溢れていた。これは沖縄県にゼネスト情勢が到来している現れではないだろうか。沖縄県民は確実に米軍基地や国に対する怒りを強めつつある。

沖大集会は昨年からの進歩が見られ、今年は学生による「帰れ」コールも起こらず、敷地内で集会を行うことができた。しかし、残念ながらデモに参加する学生は現れなかった。やはり学生にとっては講義をストライキするメリットがないからではないだろうか。講義を欠席して苦しむのは学生本人だけであり、教授たちは痛くも痒くもないのである。そのような中でいかに学生の意識を変えていくかが今後の課題である。

○富山大3年・藤井優輔

14日の安保法制の閣議決定を受けた15日からの沖縄闘争は、基地と戦争に対する沖縄県身の怒りを更に煽り、より一層激しいものとなりました。16日の沖縄県庁前から始まったデモは、この情勢の中で起こる右翼などの反動的なものを受けながらも、「戦争反対」、「辺野古新基地反対」、「安倍政権打倒」とはっきりした路線を示

し、街頭にいた多くの方から手を振ってもらい、「頑張れ」といった声をもらうなど沖縄県民との固い路線的一致と団結をもたらすものになったように感じ、高揚しました。そしてその日の午後にはIJB S労組支援共闘会議が行われ、組合員の解雇撤回と沖縄の振興策に対し、仲宗根書記長からも9割非正規の今の沖縄の現状を批判し「オール沖縄」ではなく、ゼネストによってこの社会を変えようと呼びかけられ、本土と沖縄との分断支配を打ち破る団結が今求められていると感じられました。

翌日17日、昼から行われた沖縄県民集会は、スタジアムに収まらないほどの3万5千人結集で行われ自分たちが持ちこんだビール約4万枚をまききるなど今沖縄で求められているのが、当日駅前でビールをまいていた幸福実現党などのようなあいまいな路線などではなく、やはり断固実力闘争によって、闘う方針が求められているんだと感じました。そしてその後参加者に対して、IJB S労組の方々から全党ゼネストに向けた熱い意気込みとその決意が呼びかけられ、帰る途中であっても座ってきている人やわざわざ立ち止まって聞き入る人も大勢いました。これはやはり現場で闘うそのまの労働者の声に共感し、まさに韓国と同じようなゼネストを起こせる情勢が来ていると確信を得られるものだったと思います。

そして18日、沖大ではこの激しい情勢と真っ向から向き合い、学内での集会とデモが断固行われ、沖大当局はこれに対し全く脆弱で、我々を押しとどめることはできませんでした。これに対し沖大生からは激しい注目を浴び、真剣に我々の話に聞き入る学生が大勢いました。ここに全学連と沖大中執が切り開いてきた地平があると思います。これをもってさらに沖大学生自治会は躍進しました。この4日間を通して沖縄ゼネスト、学生運動はさらに進んだ。この勢いを持って6月～8月決戦を闘い抜こう！

戦争法案粉碎！ 安倍たおせ！

《6・15国会包囲大闘争》

6月15日（月）国会デモ ＜正午、日比谷公園霞門集合＞
終日、座り込み行動＜予定＞

《国鉄闘争全国運動6・7全国集会》

～国鉄1047名解雇撤回！ 闘う労働運動の再生を！～

6月7日（日）13時～ @東京・日比谷公会堂（正午開場）



沖大自治会選挙・赤嶺知晃候補の立候補声明を掲載します

立候補声明

沖大生のみなさん！ 赤嶺知晃統一候補団は、今回の自治会執行部選挙に「沖大生の力で辺野古新基地建設止めよう！」「沖縄大学を戦争反対のとりでに！」というスローガンを掲げて立候補します。今回の学生自治会執行部選挙は歴史を決するものになろうとしています！是非、赤嶺統一候補団に信任の一票を入れてほしいと訴えます！

沖大生の力で辺野古新基地建設止めよう！

セルラースタジアムでの県民大会は、3万5千人で打ち抜かれました！ 「辺野古新基地を絶対に造らせない」という思いで集まった人々がスタジアムを埋め尽くしました！

集会参加者は「基地はいらない。息子を戦場に送りたくない」（那覇市 主婦）「（沖縄戦当時、母親を）日本の軍隊は守らなかったと言っていた。だから自衛隊、米軍が沖縄県民を守るとは思えない。基地そのものに断固反対する」（南城市、農業）「新基地建設を止めるためには今年が正念場。戦争のできる国づくりに向けた閣議決定も許せず、いつもより大きな決意で臨んだ」（北中城 無職）と口々に戦争と新基地建設への怒りを語っていました。

安倍政権は、5月14日に閣議決定した安保法制関連法案を今国会で締結し、地球の裏側まで自衛隊を派遣し、武力行使（参戦）すること可能にしようとしています。これと一体で「（中国との戦争を構えるうえで）沖縄が戦略的に極めて重要な位置に存在している」（中谷防衛相4月9日）とし、沖縄を舞台に戦争をするために辺野古に基地が必要だとしています。

5月17日の県民大会は、安倍政権に対して、戦争・新基地建設反対の怒りが沖縄全土で燃え上がっていることを示しました。大会後、「全島ゼネストで戦争と基地をなくそう」と訴えた全国の闘う学生自治会・労働組合のデモも、多くの集会参加者の声援と参加によって大成功しました。

韓国でも4月24日、戦争と非正規職化を進めるパククネ政権に対して、27万人の労働者がゼネストに立ちあがっています。ゼネラルストライキ（全社会的な規模のストライキ）で、労働者・学生が社会をストップさせ、戦争を止める時代が始まっています。国際連帯で闘う沖縄の全島ゼネストに戦争と基地をなくす力があります。

沖縄でもかつて、基地労働者を先頭とした1971年の沖縄全島ゼネストが闘われ、ベトナム戦争を止め、日米政府を震撼させました。この時、労働者とともに闘いを牽引したのが、沖大生のキャンパスからのストライキ・デモでした。

5・18沖大キャンパス集会と与儀公園までのデモは、沖大生だけではなく、多くの地域住民の支持の声で迎えられました。デモ終了後には、県民大会で学生自治会のビラを受け取ったという人から「学生が立ち上がっていることに感動した」と激励の電話もありました。沖大生のキャンパスからの決起が求心力を持っていることは、今も昔も同じです。沖大生がキャンパスから戦争・基地反対のストライキ・デモに立ち上がり、全島ゼネストを切り開こう！

沖縄大学を戦争反対のとりでに！

私たちが昨年、学生自治会を再建したのは、目の前に迫る辺野古新基地建設に対して沖縄の学生として立ち上がりたいという思いとともに、今の大学を変えたいという思いでした。

4月18日、ハワイで訓練中の米軍機オスプレイが墜落する事故が起きました。全県民に沖国大のヘリ墜落事故が頭によぎり、オスプレイの危険性が改めてはつきりしました。ところが、沖縄大学は2年前、米総領事マグルビーを授業に招き、「オスプレイは安全だ」「普天間の移設問題に文句がある人は言いに来い」と沖縄の不安や怒りを挑発するような講演会を行っていたのです。また、学生を無視して決められたビラまき一切禁止の学則や高額な学費によって沖大生の4人に1人が大学をやめていく現実もあります。こうした沖大のあり方を変えようと、昨年5月に全学シール投票を行い、圧倒的の信任を受けて沖大学生自治会を再建したのです。

沖大当局は学内での反戦集会の開催を理由に私を処分しましたが、これに対して、多くの沖大生が「処分撤回」メッセージで反撃しました。また、処分の理由となった言論・集会規制や4人に1人がやめていく現実、安倍政権の戦争政策に与するものだととして「大学の戦争協力阻止」を掲げて闘ってきました。

あれから1年間、今年の5・18キャンパス集会・デモは、中庭で全国学生と共に打ち抜くことができました。昨年の5月キャンパス集会に対しては、教授・職員が全国学生をキャンパスから排除し、「帰れコール」を浴びせる大学であったにもかかわらずです。1年間、沖大生が団結して声をあげるなかで、大学当局との力関係を変えたのです！

学生が団結すれば、大学・社会を変えることができます！ 今回の自治会選挙を通して、戦争反対・新基地建設反対の沖大生の団結をさらに拡大しよう！

ビラまき禁止規制や4人に1人がやめていく大学のあり方を変えよう！ 沖大生の「戦争反対」「新基地建設反対」のストライキ・デモを巻き起こし、沖縄大学を戦争反対のとりでにしよう！

【当面する行動方針】

●韓国・民主労総ゼネスト連帯！ 6・28集会

6月28日（日）13時半～ 東京・江戸川区総合文化センター大ホールにて



●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回＝判決

6月29日（月）11時～ 東京地裁419号法廷にて ※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

●安倍をとともに倒そう！ 7・5大集会

～「7・1 集団的自衛権閣議決定」一周年 改憲・戦争・原発・首切りのABE TAOSE!～

7月5日（日）13時～ 東京・ニッショーホール（消防会館2F）にて

【主催】許すな改憲！ 大行動（改憲・戦争・原発・貧困許さない大行動 <http://yurusunakaiken.com/>）